

# 不易と流行

●挨拶・返事 ●言葉遣い ●身だしなみ ●笑顔 ●感謝

文責 三宅 智

## ●部活動に加入しよう【1年生】

さて、4月も後半になりましたが、1年生の皆さんは「部活動」に加入したでしょうか。「部活動に入っていたら進学・就職に有利」だから加入しなければならないわけではありません。もちろん、書類上で自分のアピールをできることも大切かもしれませんが、部活動に加入して3年間継続するということは、『3年間頑張れる経験』を手に入れることができるかもしれないということです。未加入の生徒より自分を伸ばせるチャンスがあるということです。

○部活動の経験は、勉強にも生きるかもしれません。

→部活動を通して『粘り強く頑張り抜く力』が身につくかもしれません。

○部活動の経験は、検定試験にも生きるかもしれません。

→部活動を通して『簡単に諦めない精神力』が身につくかもしれません。

○部活動の経験は、進路実現にも生きるかもしれません。

→部活動を通して『継続してきた自信』が身につくかもしれません。

ちなみに、千歳高校には、全部で34種類の部活動（体育系・文化系・外局含む）があります。昨年度の国際流通科の卒業生は、そのうちの11種類の部活動で代表（部長・主将・局長）を努めてきました（部活動全体の34.2%）。みなさんも、ぜひとも部活動に加入して『3年間頑張れる経験』を手に入れましょう。

## ●全商検定の問題が変わりますよ！【2・3年生は注意しましょう】

2・3年生の皆さんはここまでの検定試験を全て取得できているでしょうか。もし、合格できず落ちてしまったとしても、諦めずに挑戦を続けて欲しいですし、一度や二度落ちたくらいで落ち込まないで欲しいとも思っています。ぜひとも卒業までに取得して、自分の力にしてください。ただ、今年度は全商検定の一部に変更がかかっていますので注意してください。取りこぼしの検定がある場合は、最新版の問題集を取り寄せて学習しましょう。

### ○全商珠算・電卓実務検定→全商ビジネス計算実務検定（名称変更・内容改訂）

昨年までの珠算・電卓実務検定は、「ビジネス計算実務検定」に名称が変わっています。問題の形式も、普通計算部門・ビジネス計算部門の両方が改訂されていますので、注意しましょう。

※令和4年度以降検定規則・出題範囲・出題内容・出題形式が変更されています  
（全商 Web）<http://www.zensho.or.jp/puf/examination/calculating/index.html>

### ○全商ビジネス文書実務検定→速度部門で一部出題の改訂があるかもしれません

ビジネス文書実務検定でも、問題の一部改訂が公表されています。特に、速度部門では、ただ文書を打つだけでなく、手書き風の文字の一部を訂正するような出題が、新傾向のサンプル問題に出ています。新傾向はまだ最新版の問題集では掲載されていないので、今回は出題されないかもしれませんが、一応確認だけはしておきましょう。

（全商 Web）<http://www.zensho.or.jp/puf/examination/wp.html>

それぞれのQRコード先を確認して、最新の情報を手に入れてください。1年生は最新の問題集で授業を行っていますが、2・3年生は特に注意が必要です。きちんと対応して、合格を目指しましょう。



## ●3年生は忘れずに検定の申込みをしましょう【全員受験ではありません】

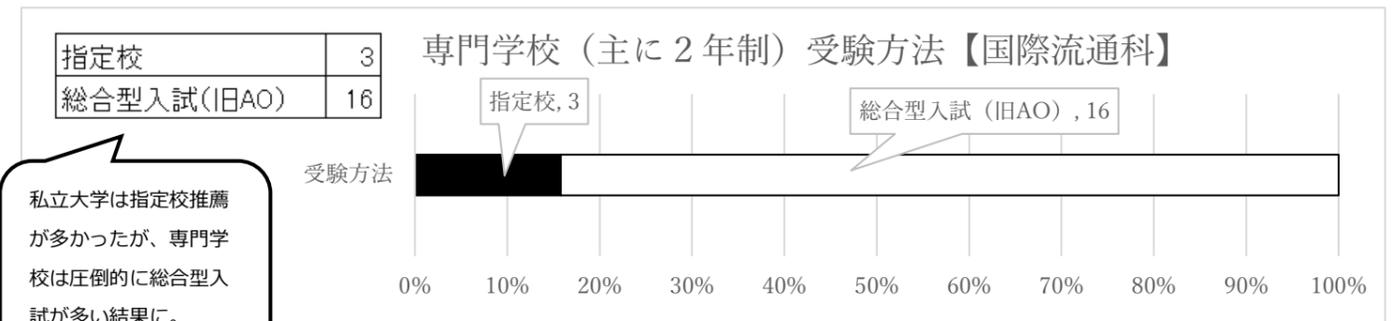
1・2年生までは、検定試験のほとんどが全員受験でした。ですが、3年生になると全ての検定試験において申込みが必要となります。6月に実施される検定試験においては、すでに申込みが終了しているものもあります。申込みを忘れてしまうと、チャンスが1回減ってしまいますので、教室掲示の実施要項を必ず確認するようにしましょう。

ちなみに、1・2年生時の検定で取りこぼしたものがあれば必ず受験してください。そして、『迷ったら受験する』が基本です。申込みをしていない時点で合格するチャンスはゼロになってしまいます。特にビジネス文書実務検定などは「まだ710文字打てないから受験は11で月いいや」と思わないようにしましょう。7月までに成長するチャンスを逃すことになり、3年生は調査書の記載に間に合わなくなってしまいます。前向きに取り組んで、早めの取得を心がけましょう。



## ●令和3年度卒業生 進路状況分析②「専門学校編」

3月に卒業した卒業生の進路状況の2番目に多かった進路先は、74名中19名（26%）の人が進学した専門学校でした。その中で、指定校推薦を利用したのは3名、総合型入試（旧AO入試）を利用したのは16名でした。圧倒的に総合型入試が多かったのは、「受験のタイミングが早く、結果も早い」「特待生の制度を利用できるため」という理由があったためです。特待生の制度を利用して受験するためには、それぞれの専門学校の資料をきちんと読んで、条件を整える必要があります。ちなみに、全商検定を利用した特待制度を持つ専門学校などもあります。商業の学びを深められるような専門学校を選んでいる先輩もいますよ。



私立大学は指定校推薦が多かったが、専門学校は圧倒的に総合型入試が多い結果に。

専門学校に進学を考えている人は、きちんとした「職業観」を持ちましょう。専門学校は、大学や短大に進学することに比べ、専門的な内容に特化した学習を行うため、進路希望を変更しにくいのが難点です。進学を考える際には、本当に自分にその進路が合っているのかについてもよく考えましょう。専門学校を選んだ際には職業に関する強い気持ちをもって進学して欲しいと思います。

また、特待制度についても記述しましたが、昨年度に限って言えば、専門学校の特待制度よりも、私立4年制大学の特待制度の方が人数も多く、金額も大きかったのが印象的です。星槎道都大学や、北海道情報大学、札幌大学などの大学で、給付型の奨学金や入学金免除を獲得した生徒が多数でした。

これも昨年度の特徴です。これまでの国際流通科通信では、私立4年制大学や専門学校の進学について取り扱いましたが、進学には多額の費用がかかります。進学を考えている生徒は、きちんと保護者や先生と話し合しましょう。



### 令和3年度卒業生 専門学校進路一覧

※合格者降順・五十音順

札幌医療秘書福祉専門学校	3名
大原医療福祉専門学校	2名
札幌商工会議所付属専門学校	2名
北海道ハイテクノロジー専門学校	2名
大原簿記情報専門学校札幌校	
大原簿記法律専門学校	
札幌看護医療専門学校	
札幌こども専門学校	
札幌スイーツ&カフェ専門学校	
札幌デザイナー学院 専門学校	
札幌ビューティーアート専門学校	
札幌ミュージック&ダンス放送専門学校	
日本航空大学校航空工学科	
北海道理容美容専門学校 RIBI	